



方面總監統率方針
任務完遂

発行所
陸上自衛隊
中部方面總監部広報室
〒664-0012
兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-11
電話 072(782)0001

災害派遣 令和元年台風19号に係る災害派遣

約4週間の任務を完遂

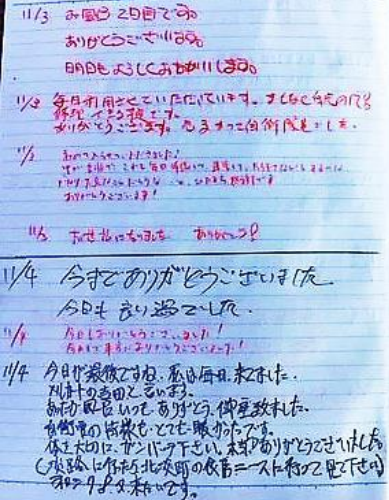
中部方面隊（総監 野澤陸将）は、10月14日（火）から台風19号に係る災害派遣任務として、長野県、埼玉県、栃木県、福島県及び宮城県において、人命救助、道路啓開、小学校等の土砂の除去、入浴支援及び給水支援に従事した。

11月8日（金）自衛隊の災害派遣態勢の移行に伴い、各被災地を担当している東北方面隊及び東部方面隊に対しそれぞれ任務を引き継ぎ、中部方面隊は、派遣活動を終了した。



本宮市長より言葉を頂く第3後方支援連隊隊員（本宮市）

統合任務部隊（JTF）が解組、東北方面隊及び東部方面隊に任務を引き継ぎ



住民からの心温まるメッセージ（相馬市）



イラスト付の横断幕（丸森町 小斎小学校）



隊員との別れを惜しむ住民（本宮市）

派遣部隊は、約4週間の派遣期間、「笑顔と故郷を取り戻すために JTF」を合言葉に、被災者に寄り添い活動を行った。被災者の皆様からイラスト付横断幕など、数多くのお礼と激励の言葉を頂き、早期の復興を願いつつ、派遣部隊は、それぞれの活動地域を後にした。



見送りを受ける派遣部隊（本宮市）

原子力総合防災訓練

鳥取県、島根県

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、11月8日（金）から10日（日）までの間、政府が主催する原子力総合防災訓練に参加した。地方公共団体、防災関係機関等と連携して被災者の救助・救出要領、住民避難等の要領を演練し、連携の強化及び対処能力の向上を図った。



資機材搬送訓練（中部方面航空隊）



住民避難訓練（第13飛行隊）



災害医療活動訓練（第13後方支援隊）



車両除染訓練（第13特殊武器防護隊）



避難経路確保訓練（第13施設隊）

統率方針・要望事項を徹底

総監初度視察

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、10月下旬から11月中旬にかけて、第14旅団、自衛隊京都・大阪・香川地方協力本部、善通寺駐屯地業務隊に対し、総監初度視察を実施し、状況報告、隊内巡視及び隊員との懇談により、各部隊等の現状を把握した。

総監は、視察終了後、それぞれの部隊等に対し訓示を行い、統率方針、要望事項等について徹底を図るとともに、隊員を激励した。



隊員との懇談（自衛隊香川地方協力本部）



巡 閲（第14旅団）



隊員との懇談（自衛隊大阪地方協力本部）



隊員との懇談（自衛隊京都地方協力本部）

月 日	視察部隊等		場 所
10月31日（木）	第14旅団	旅団長 小和瀬将補	香川県善通寺市
	善通寺駐屯地業務隊	隊 長 田 中1佐	
11月 1日（金）	自衛隊香川地方協力本部	本部長 河 合1佐	香川県高松市
11月 6日（水）	自衛隊京都地方協力本部	本部長 亀 井1佐	京都府京都市
11月18日（月）	自衛隊大阪地方協力本部	本部長 富 崎将補	大阪府大阪市



戦闘射場の整備（日本原演習場）



樹木の伐採（あいば野演習場）



至近距離射場の整備（日本原演習場）



幹線道路の整備（あいば野演習場）



幹線道路の整備（日本原演習場）



野澤総監視察（あいば野演習場）

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、10月30日（水）から11月7日（木）までの間、「令和元年度方面隊統制演習場秋季整備」（あいば野演習場及び日本原演習場）を実施した。

本演習場整備は、第4施設団長（小谷将補）を担任官とし、訓練基盤の維持・拡充を図ることを目的として毎年実施している。今回の整備内容は、台風19号に

伴う災害派遣の最中であつたため、編成・整備項目等を予定より一部見直した。

方面隊の各部隊で編成した整備隊（総員約2,250名、車両等約900両）は、担任官要望事項である「任務の完遂」「整備の場を活用した各種練成訓練」「各種管理の万全」を遵守し、それぞれ各演習場の整備を完了した。

方面隊統制演習場秋季整備

あいば野・日本原演習場

中部方面隊の17名 ハノイ近郊において活動中

国連PKO早期展開支援 (RDCE)

第4施設団

中部方面隊から国連PKO早期展開支援に派遣された第6施設群第3科長(大塚3佐)以下17名の隊員は、10月27日(日)現地ハノイ近郊に到着した。到着後は、約1週間教育実施に必要な態勢を整え、越軍からの訓練生20名を迎え入れ、11月6日(水)無事、開講式を迎えた。



通訳を含めた教授予行

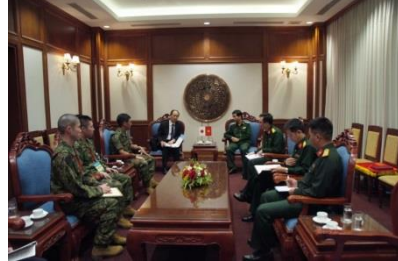


現地施設器材の受領・点検

開講式では、越国防省次官ヴィン上將、越軍PKO局長フン少將、外務省総合政策局山中参事官の臨席を得て行われ、教官団も本事業の重要性を再認識し、決意を新たにしました。



開講式における教官団長大塚3佐の挨拶



越軍PKO局長フン少将への表敬

ベトナム社会主義共和国

教育は、油圧基礎、電気基礎、燃料・潤滑油及び安全管理の4科目から始まり、約2日間の講義により、基礎を確立した。引き続き、実習教育(基本操縦、整備基礎及び整備技術)に移り、訓練生が国際任務の遂行が可能になる練度まで到達するように教育を実施している。



グレーダー基本操作教育



ベトナム軍兵士への講義

駐大阪・神戸米国総領事来訪



懇談



記念撮影

中部方面隊(総監野澤陸将)は、10月29日(火)駐大阪・神戸米国総領事(カレン・ケリー女史)の訪問を受けた。懇談では、災害への対応、方面隊の取り組み、少子高齢化問題、女性活躍の重要性について相互に確認するとともに、今後も協力関係を構築することを約束し、終始和やかな雰囲気の中、懇談を終了した。



菊池講師による講義

中部方面隊(総監野澤陸将)は、11月25日(月)伊丹駐屯地において、フォトジャーナリスト菊池雅之氏を講師に招き、写真撮影の技術指導を頂いた。本技術指導は、広報担当者の写真撮影能力の向上を図り、広報業務の円滑な推進に資することを目的として行った。

写真撮影技術指導

伊丹駐屯地

今年度は、各師・旅団、各駐屯地、各地方協力本部等から約60名の広報担当者が参加した。菊池講師は、実技指導に引き続き、撮影技術の要点等について、個別指導を交えながら、講義を実施した。

中部方面隊(総監野澤陸将)は、11月11日(月)から16日(土)までの間、あいば野演習場において、方面区内空挺予備員降下訓練を実施した。

令和元年度空挺予備員降下訓練

あいば野演習場



降下訓練の様子

金沢駐屯地

ふあみさぽ通信(連載:第36回)

金沢駐屯地業務隊は、石川県全域を担当地域として、平成27年度から関係部外団体等(石川県自衛隊家族会・隊友会)と連携した家族支援施策に取り組んでいます。毎月実施される石川県・金沢市家族会理事会には業務隊から担当が参加し、駐屯地の主要行事、家族支援事業等を直接報告することにより、日頃の自衛隊の活動への理解と協力を頂いています。

また、各会員の要望や意見を聞くほか、時には世間話を行う等、家族会との顔を合わせた交流を積み重ね、強固な信頼関係を築いています。

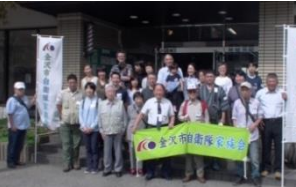
今年度は、観桜会、納涼行事等駐屯地行事の場において、隊員家族との顔合わせを繰り返し実施し、目標である要望達成率85パーセントに到達することができました。

9月には、家族会会員28名に対して、平素からの連絡及び調整をより円滑に実施するために「家族支援担当者証明書」を発行し、金沢駐屯地部隊見学も支援して、何かあった際には、確実な家族支援を行って、後顧の憂いを無くすよう努めました。

今後、より一層充実した家族支援態勢の確立に努めていきます。



家族支援担当者証明書の発行



金沢市家族会駐屯地部隊見学

俺を見ろ



第3後方支援連隊
第1整備大隊
火器車両整備中隊長
(千倍駐屯地)
1尉 古山 基支

「円を成せ」

第3後方支援連隊第1整備大隊において、火器車両整備中隊長の職を拝命し、約半年が過ぎようとしています。

この間、中隊の主たる任務である「師団諸部隊に対する火器、車両等の野整備及び回収支援」に邁進すべく、隊員とともに日々奮闘しています。

この任務完遂には、①装備品の可動サイクル(不可動↓整備↓可動)の精度向上及び高速化、②PDCAサイクル(Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Amelioration(改善))の慣習化、③「血が必要である」と考え、隊員に「円を成せ」を要望しています。

中隊の任務は、被支援部隊の任務完遂のため、平素から各種装備品を良好な状態に維持し、十分に可動させることです。このため、中隊としては可動率の低下が任務遂行に直結するとの危機意識の下、整備・回収業務に努めています。また、得られた成果を部隊・隊員の練度管理に確実に反映するとともに、「次にどう生かすか」に着意して改善・進化させていきます。

中隊長として、引き続き、隊員相互に血の通った活き活きとした濃密な人間関係を構築し、風通しの良い勤務環境を整備して、隊員の心情(身上)把握に努めるとともに、中隊全隊員で任務を完遂するため、鋭意努力していく所存です。

今回は、京揚げカレーを紹介したいと思います。この献立は、通常、カレーに入っているジャガイモの代わりに、刻み油揚げと青ねぎを入れ、京風に仕上げたものです。平成30年度に宇治の名物献立を確立しようという目標を掲げ、1年かけて和・洋・アラカルトでメニューを考え、隊員達による投票で1番になった献立です。現在でも隊員達に人気で、会食にも取り入れ、宇治駐屯地に来られた方々をもてなすメニューにもなりました。他にも手作りハンバーグや鶏肉のバジルソテーなど隊員達に人気なメニューが沢山ありますので、当駐屯地へお立ち寄りの際は、是非ご賞味ください。

うちのご飯 「宇治駐屯地」



京揚げカレー

宇治駐屯地は、京都府南部にあり、駐屯地内の建物は、明治・大正・昭和戦前のものが40パーセント強を占めています。年3回の駐屯地一般公開では多くの方にお越しいただき、特に春の桜まつりでは、約1キロメートルに亘る桜並木と赤レンガのコントラストが見所です。当駐屯地では、アウトソーシング化せず専属の自衛官・技官が調理をしていることから、安定した美味しさで料理を提供できることが強みです。隊員達からの「美味しかった」という言葉が日々の励みになっています。

おひるおやつタイム



中部方面情報隊
(伊丹駐屯地)
士長 保坂 真理

私は、平成30年9月、中部方面情報隊に配置され、現在、隊本部第3科情報処理班で資料係として勤務しています。

情報処理班には、今年の8月に異動したばかりで、日々を過ごしています。

また、現在、陸曹を目指しており、1次試験に合格し、2次試験に向け練成中です。分隊教練や面接指導等、上司や先輩方から厳しくも温かい指導を頂いています。早く陸曹になって部隊に貢献できるように頑張っています。

趣味は、中学に入学してから始めたフルートです。高校、大学時代も吹奏学部に入部し、現在も実家に帰省するたびにレッスンに通うほどです。フルートを吹いていると、綺麗な音色で心が落ち着きます。休日に好きなクラシックを聞いたり、音楽に触れることも大好きです。

自衛隊に入隊し、まだ2年目ですが、上司、同僚、家族への「感謝」の気持ちを忘れず、これからも頑張っていきたいと思えます。



趣味のフルート